

■第4回委員会での主な意見と対応

質問・意見	回答・計画への反映
～基本方針について～	
1・基本方針「安全・安心なまちづくり」において、「誰もが安全・安心な交通環境の形成を図ります」とあるが、主語が曖昧であるため表現の修正が必要	・「誰もが安全・安心に移動できる交通環境の形成を図ります」と表現を修正しました
～交通戦略について～	
2・福祉分野の交通施策について、例えば、NPO法人による福祉有償運送や敬老バスの拡大についてどう考えているか ・交通分野と福祉分野のすみ分けや連携が重要である ・全ての人にとってより使いやすいという視点や福祉行政と交通行政の連携などを考えてほしい	・交通分野の役割としては、基本方針に掲げている「誰もが安全・安心に移動できる交通環境の形成」に向けて、交通施設や車両のバリアフリー化などのユニバーサルデザインの視点で取組を推進することが重要であると考えており、また、これらの交通施策は、福祉分野で進めている交通費助成や福祉有償運送などの福祉施策と連携して進めることが重要であることから、推進体制の行政の役割の中で「福祉分野との連携」についても明記しております ・敬老バスについては、制度の持続可能性という観点から、現時点では他の交通機関への拡大は困難な状況です
3・観光客への市民のおもてなしとして、交通・観光ボランティアの育成や活動なども重要ではないか	・観光客に対する交通案内に、観光ボランティアを活用することは重要な視点であるため観光部局と連携を図りたいと考えております
4・「札幌らしい」交通環境学習などモビリティマネジメントの推進とあるが、もう少し分かりやすい表現、誤解を与えないような表現が必要 ・札幌市だけでなく国での取組や、転入者に対する取組などもある。子供向けだけではなく、広い意味のMMの推進と理解する	・「モビリティ・マネジメントの推進（小学校における交通環境学習など）」と表現を修正しました
5・災害時に交通自体をどうするのか、市として総合的に、例えば避難場所の問題も含めて考えていく必要がある。そのような視点で必要な体系、施策も表現してほしい	・災害時の交通として、道路交通では緊急輸送道路の整備などの施策を位置付けております。一方、交通局では代替輸送についてバス会社との連携を整理しておりますが、昨年度の地震を受けて、地震発生時の更なる対応について現在検討しております
6・快速エアポートの増強とあるが、JRに限らず空港バスもある。都市間バスについても重要である	・都市間バスについても重要であると考えており、交通体系の基本的な考え方「広域交通ネットワーク」において、都市間バスは、「中・長距離移動の地域間交通ネットワークとして札幌市と道内各都市間の輸送を担う」とともに、「代替性を確保した交通ネットワーク形成」にも寄与するものとして表現しております。
7・高齢者の事故の問題も最近多くどう低減させるかが重要である。車への後付けの踏み間違い加速抑制システムに補助について、検討ぐらいは位置付けが出来ないか。より安全になり、郊外に住んでいる方の足をサポートできるのではないかと思う	・後付けの補助について実施の予定はありませんが、他都市の状況について情報収集をしていきたいと考えております
8・これから10年、市民のニーズが大きく変わり、技術が向上することも考えられ、計画に書いていないから出来ないということではなく、技術の進化に柔軟に対応していただきたい ・不確実性のあることについて、どう書きこむかは検討する必要がある	・技術革新などの社会情勢の変化を捉え、交通戦略の更新や追加を行っていくことは重要であると考えており、その仕組みについては推進体制の中で整理しました
9・外国人観光客など観光客の受け入れ環境の整備は重要。観光客の周遊を促すためには、クレジットカードや電子マネーで買うなどストレスのないキャッシュレス環境を整備する必要がある	・交通施策に位置付けている「SAPICAの利便性向上」などの中で、利用者のニーズにあった決済手段の導入について検討していきたいと考えております
10・CO2排出量・運輸部門は、将来的に下がる予測である。次世代自動車がどういったエネルギーから電気や水素を調達して使っているかまで追わないと、他の部門に移し替えているだけかもしれない。把握は難しいかもしれないが、それも考慮すべき	・現時点では難しいですが、環境部局と連携して評価方法について国の動向などを注視していきたいと考えております
11・市民の役割について、市民が協力することは書き込む必要があるが、どこまで書き込むかは議論が必要。多様な選択肢を持って、市民が適切に選ぶことが重要	・「市民の役割」について表現を修正しました
12・電気自動車のスタンドが増えていくが指標にならないか ・代表指標とあるが、パッケージを代表する指標になっているのか ・指標に関しては、アウトプットよりアウトカムの方が望ましい	・評価指標の設定にあたっては、本来アウトカム指標が望ましいですが、わかりやすく定量的で効果計測が可能な指標を設定する必要があり、結果的にやむを得ずアウトプット指標も設定しております ・代表指標を一つに絞らず複数設定するなど、工夫したいと考えております ・電気自動車のスタンドについて札幌市で押さえているデータはありませんが、次世代自動車普及に関する指標について環境部局でも検討していることから、指標として設定できるか検討していきたいと考えております